

elite

## Wireles DMX

**TX** トランスミッター/送信機

**RX** レシーバー/受信機

### ▶ 製品の特徴

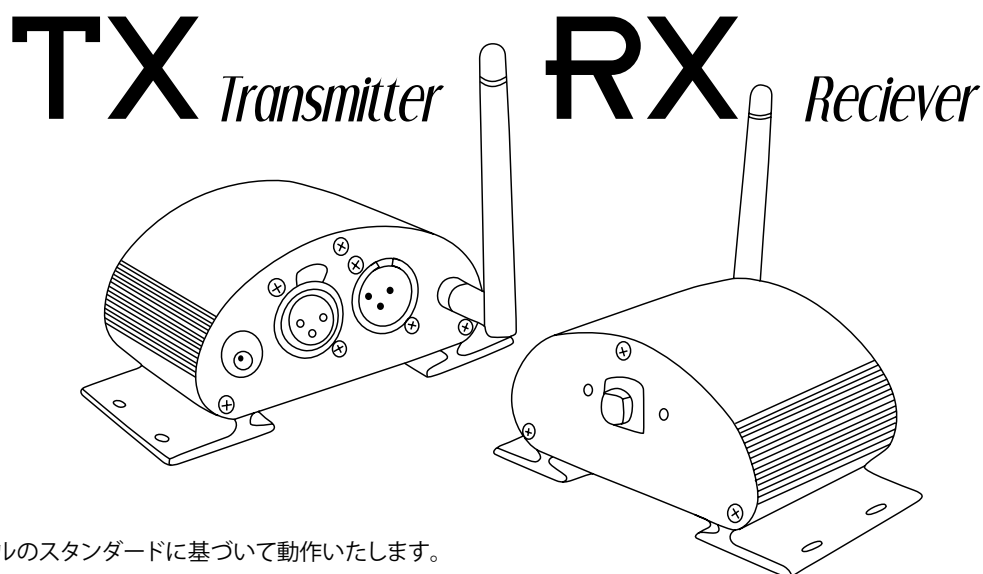
この度はelite「Wireless DMX」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の性能を十分に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み頂き、大切に保管して下さい。

イーライト「Wireless DMX」はコンパクトで軽く、ボタンひとつで操作できるシンプルなDMXデータ送受信装置です。免許不要で最大512チャンネルのDMXデータを遅延や干渉なしに安全に送受信することができます。

データの送受信には無線取り扱い免許不要で使用できる2.45GHz帯域 ISM BANDを使用します。AFHSS - 適応型周波数ホッピングは、帯域内の電波状況をサーチ、そして空いているバンドを自動選択してホッピングチャンネルを自動設定する理想的な周波数ホッピングシステムです。

#### 製品内容

- ・TX トランスミッター又はRX レシーバー
- ・電源アダプター
- ・取扱説明書



DMXプロトコルのスタンダードに基づいて動作いたします。  
本機はブレイクタイムは92 $\mu$ sc以上で動作します。それ以下のブレイクタイムはサポートいたしません。又、更新周波数も100hzを超える場合も同様です。

## 注意

**使用上のご注意 発火・感電・事故・死亡の恐れがあります。**

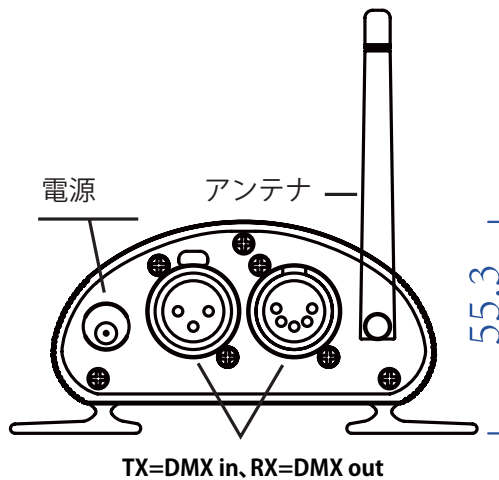
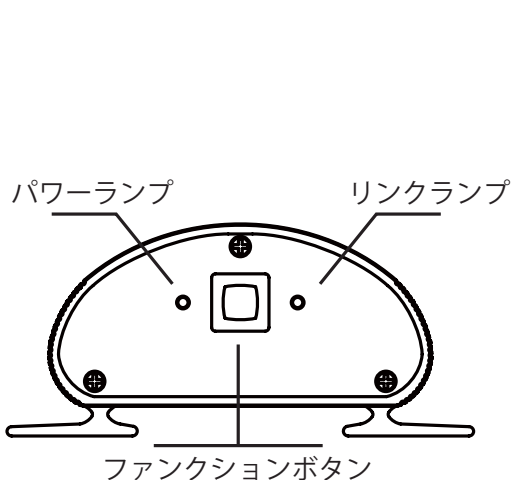
▼本製品は屋内での使用を目的に製造されています。屋外ではご使用になれません。▼分解や改造はしないでください。▼発火のおそれがありますので水をかけたり高温多湿な環境に放置しないでください。▼電圧電力の異なる電源アダプターを使用しないでください。▼電源コードを傷つけたり巻きつけたりしないでください。▼トランスミッターの取り扱い、技術に精通した人物に従って行って下さい。

**FCC注意事項 (federal communications commission)**

この製品はFCC(米連邦通信委員会)の規定パート15の認証を受けています。下記2点に留意してご使用ください。

- (1)この製品は電波障害の元とはなりません。
- (2)この製品は複数の電波を送受信し、周囲からの電波干渉は誤作動の原因となります。

## 各部の名称

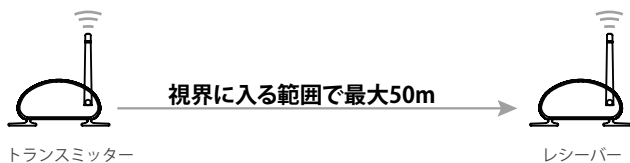


## セットアップ

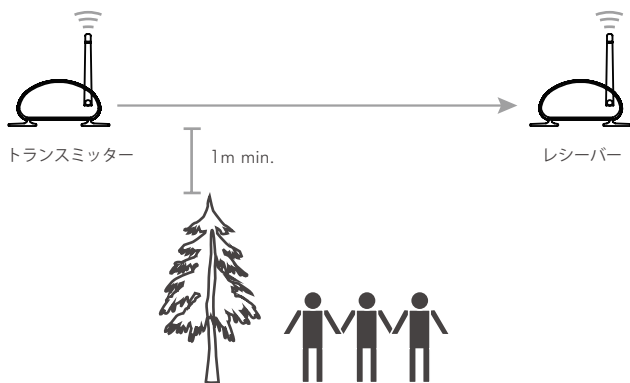
**トランスミッターとレシーバーの設置**

しっかりとしたリンクを確立するために、以下の条件を満たして下さい。

A.トランスミッターとレシーバーの間隔は50mを超えないようにして下さい。

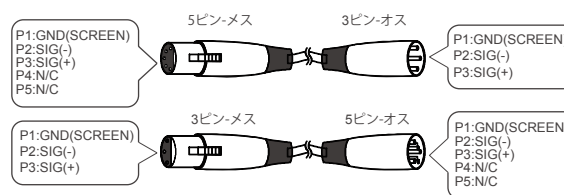


B.下記の図のように障害物がある場合、トランスミッターとレシーバーの位置は、障害物より1m上方に設置する必要があります。



**システムの接続**

適切なDMXケーブルを使用しトランスミッターはDMX INに、レシーバーのDMX OUTと接続してください。

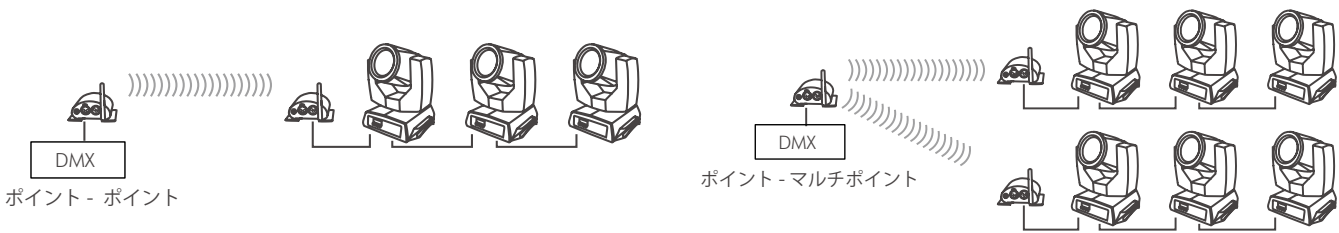


**電源アダプタ**

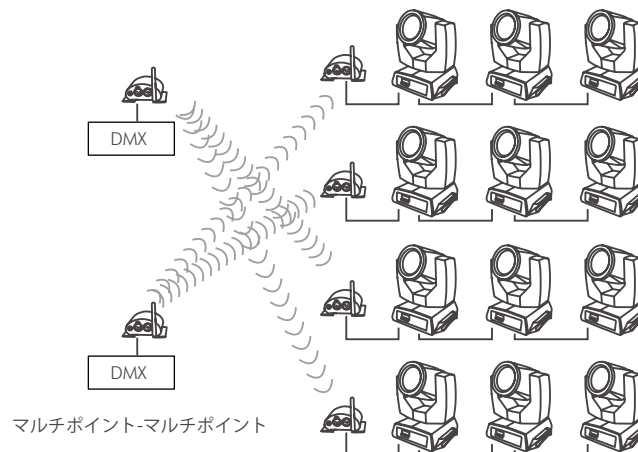
各トランスミッターとレシーバーには付属の電源アダプター9VDC 1000mAから電源を供給して下さい。ご注意:異なる電圧電力のアダプターを使用すると故障の原因となります。

## 使用方法

- 1.ポイント-ポイント
- 2.ポイント-マルチポイント
- 3.マルチポイント-マルチポイント



一つのトランスミッターで最大512台のレシーバーに送信できます。  
これによりマルチポイントでの送受信システムを構築できます。



マルチポイント-マルチポイントなら一斉送信を使用し、DMX16ユニバース以上使用できます。  
一つのマルチポイントシステム内の全てのレシーバーは、別システムからの電波干渉を受けずに送受信することができます。

### レシーバーの追加接続

- (1)レシーバーユニットの電源を入れ、何もリンクされていないトランスミッターとの接続を確定してください。(LINKインジケータはOFFの状態です。)LINKインジケータが点滅している場合FUNCTIONボタンを長押しし、LINKのLEDを消して下さい。
- (2)トランスミッターのファンクションボタンを軽く押してください。トランスミッターは、接続されていないレシーバーの電波を10秒間スキャンします。LEDが早く点滅し接続が確立されると、レシーバーとトランスミッター双方のLINKインジケータが点滅します。(遅いLEDの点滅)
- (3)確立された場合、レシーバーのLINKインジケータが遅い点滅になります。接続が確立しない場合、レシーバーとの距離を確認して同じ手順を何度か踏んで下さい。

メモ:使用中であってもレシーバーを追加することができます。オペレーションシステム内では、追加されたレシーバーは10秒間アイドルモードに戻りログインします。一度新しいユニットをログインし、全て新しいユニットとして始めからスタートします。

### レシーバーの接続解除

レシーバーのファンクションボタンを3秒間押し続けて下さい。LINKインジケータが消え、レシーバーの接続が解除されます

### 全てのレシーバーの接続解除

トランスミッターのファンクションボタンを、LINKインジケータが点滅するまで押し続けて下さい。接続されていた全てのレシーバーとの接続が一斉に解除されます。

メモ:たとえDMX信号や電源がOFFになっようとレシーバーが接続されている状態を保ちます。  
EEPROM内にログイン情報は保存されており、電源を切っても消えることはありません。

## 特徴

- AFHSS(適応型周波数ホッピング)
- 免許不要の2.45Ghz帯域 ISM
- DMXデータの送受信は512チャンネル(1ユニバース)
- 1エリア最大16ユニバースのDMX
- ボタンひとつのシンプルな操作
- IPアドレスの設定不要です。接続するだけで使用可能
- ポイント-ポイント、ポイント-マルチポイント、マルチポイント-マルチポイントオペレーション

## スペック

- 送信到達距離 : 50m
  - IP レート : IP20
  - 電源 : 9VDC, 1000mA
  - 寸法 : 65mm x 60mm x 55mm
  - 重量 : 400g
- 端子
- TX : 3pin オス ・ 5pin オス DMX 入力
  - RX : 3pin メス ・ 5pin メス DMX 出力

## トラブルシューティング

緑の送信ランプが点灯後すぐに消える場合の対処方法

- ハードリセット: 赤いスイッチを押しながら電源を投入する(A Cアダプターを入力する)

TXに適正なDMXが入力されていない場合、緑の送信ランプはゆっくり点滅します。この場合、適正なDMXが出力されるコンソールに変更下さい。

電源を入れても緑のランプが付かない場合は下記の方法でリセットしてください。

アダプターのプラグを抜いた状態でボタンを押したまま、プラグを差し込みます。そのまま5-6秒ボタンを押し続けてください。緑のランプが点灯します。

この取扱説明書は、IDE コーポレーション有限公司が制作しています。

発売元 : IDE コーポレーション有限公司

〒 530-0015 大阪市北区中崎西 1-1-24